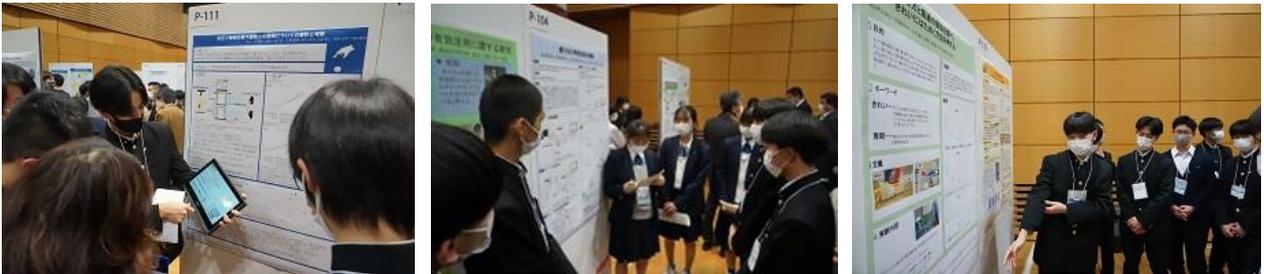


サイエンスキャッスル2022 中四国大会に参加

12月10日(土)に岡山コンベンションセンターで開催された「サイエンスキャッスル2022 中四国大会」に、本校から普通科・理数科2年生の生徒(14グループ54名)が参加しポスター発表を行いました。

普通科からは「温度変化を抑えて換気をする方法」、「自己効力感が睡眠の質にもたらす影響」、「9階から自由落下するエレベーターに乗っている人が安全に助かる方法」、「小学生に最適な情報教育の授業形態」、「洗濯物をたたむロボット」、「地方の交通機関に対する関心を高めるアプリの制作」の6グループが、理数科からは「新たな化学発光系の探索」、「偏心クラドニ図形」、「気圧と物体の落下の関係」、「旗のはためき方の関係を調べ、きれいにはためかせる」、「コーティング剤の撥水性の模索」、「ループコースターにおける非保存力を調べる」、「自転車のスポークの形状と空気抵抗の値の関係」、「セルロースナノファイバーの実用化に向けた特性評価」の8グループが参加しました。

参加した生徒たちにとっては、校外のこのようなコンテストで課題探究・理数探究で研究した成果をポスターにまとめて発表することは初めての経験でしたが、どのグループも堂々と発表を行い質疑応答にもしっかりと対応することができていました。この発表での経験は今後の校内や校外の発表会で生かされていくことになると思います。



【参加した生徒の感想】

- 最初は雰囲気がわからなくて不安で緊張したが、発表をしたり聞いたりすることで自分たちに不足している部分や改善しなければいけない部分があってよかった。大勢の聴衆に向けて発表することができて楽しかったし、きちんと発表できたことで良い経験をする事ができた。
- 自分たちが研究してきたことは、自分たちの中では良いことだと考えていたが、専門の方からアドバイスを頂けたことで改善点を見つけることができたので参加してよかった。
- ポスター発表で聴衆とコミュニケーションを取ることができて楽しかった。また、ユニークな研究内容が多く発表を聞くことができて、多くの刺激を受けることができた。